

# 香川県立ミュージアム

新しい常設展が始まります

盆栽好き必見！**小品盆栽** & 春の雅に浸る！**雛飾り**

## 小さきものたちの世界

1 会 期 令和5年2月4日(土)～4月9日(日)  
開館時間 9:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)  
休 館 日 月曜日(ただし、2/28～3/5は臨時休館)

2 会 場 香川県立ミュージアム 常設展示室1  
(高松市玉藻町5-5)

3 展示内容 小さいものを愛する想いは、古くから人々の心に受け継がれてきました。それはより精緻なものを手元に置き愛でたいという想いにつながります。

そのような小さいながら技巧の凝らされたものとして、館収蔵の小品盆栽道具と雛飾りを紹介します。

小品盆栽は盆栽の中でも特に小さいものを指し、多くの愛好家を楽しんでいます。この小品盆栽(昔は「豆盆栽」と呼ばれた)の世界を築き広め、「豆盆栽の宗家」と呼ばれたのが、高松松平家第12代当主頼寿(よりなが)です。自宅には800鉢を並べ手入れする一方で、鉢や盆栽の脇を飾る添配(てんぱい)等の道具を数多く蒐集しました。本展では、彼が残した貴重な小品盆栽道具のコレクションを展示します。

雛飾りは高松松平家に伝来するもので、頼寿夫人昭子や、第13代当主夫人香枝子の所用した人形、雛段、精巧な雛道具があり、この季節にふさわしい展示です。

松平家の人たちに愛された小品盆栽と雛飾りという小さきものたちから、明治～昭和戦前の松平家の温かな家庭空間が垣間見えれば幸いです。

4 展示点数 50件 134点

5 観 覧 料 一般 410円 団体(20名以上) 330円  
高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料

6 関連行事 ミュージアムトーク(担当職員による展示解説)  
日時 2月11日(土・祝)、3月26日(日) 各日 13:30～ 30分程度  
場所 常設展示室1  
申込 不要、観覧券が必要(参加者数を制限する場合があります)  
学芸講座 「豆盆栽の宗家」松平頼寿の最も愛した世界  
日時 3月11日(土) 13:30～15:00  
場所 地下1階講堂  
申込 要事前申込、定員230名(定員になり次第受付終了)  
申込方法 電話、ファックス、はがき、[香川県]電子申請・届出メニュー  
(申込開始 2/11～)



小品盆栽鉢(染付)  
明治～昭和戦前 高松松平家歴史資料(当館保管)

※新型コロナウイルス感染症防止対策にご協力の上、ご観覧いただきますようお願いいたします。

(裏面に続く)

## 7 主な展示品

### 雛人形（ひなにんぎょう） 明治～昭和戦前 （高松松平家歴史資料）



松平家第12代当主夫人昭子（1883-1976）、第13代当主夫人香枝子（1916-1997）の所用品を中心とする。

内裏雛（だいらびな）、三人官女、五人囃子（ごにんばやし）、隨身（ずいしん）、仕丁（しちょう）からなる雛人形には多くの雛道具が付随し、雛壇や紫宸殿（ししんでん）、ガラス器や御所人形、豆加茂人形、毛植人形などが共に伝えられている。

### （左）掛軸（かけじく） （右）水石（すいせき） 明治～昭和戦前 （高松松平家歴史資料）



小品盆栽とともに飾棚に飾られる小型品。掛軸は縦55.6cmで、江戸時代後期の著名な思想家、漢詩人である頼山陽（らい・さんよう）の書との箱書きがある。

水石は表面の文様の面白さや自然景への見立てを楽しむ。向かって左の水石（幅2.5cm）は菊花状の文様が浮かび上がる菊花石、右は岩間を滝が流れ落ちる様の見立てと思われる。

### 飾棚 明治～昭和戦前 （高松松平家歴史資料）



高さ38.0cm。この中の棚や天板を使い、小品盆栽、水石、添配を飾る。